

テーマ 共同仕入・共同購入

レタスの生産支援により食の安全と仕入額の拡大に貢献

葉っぱや協同組合

水耕栽培によるブーケレタスの商品規格を統一し、生産管理ノウハウを提供。固定相場取引の実現により、組合員の収入の安定化と安全で高品質なレタス生産を実現する。

背景と目的

野菜農家にとって安価な輸入野菜の影響に加え、変動的な相場が大きな懸念材料であった。一方、食の安全に対する機運も高まっていく中で、当組合の野本代表理事を中心に葉菜類の水耕栽培の研究を長年続けてきた。その結果、有限会社葉っぱやがブーケレタスのブランド化による固定相場取引を実現させたのである。その相場リスクのない販売形態と食の安全性に賛同した農家が全国から集まり、生産者グループとして機能するようになった。当組合は、このグループの有志によって相場に左

右されない自主的な生産活動の促進と食の安全・安心を求めて平成20年3月に結成された。

事業・活動の内容

組合では水耕栽培による安全・安心な葉物野菜の普及と組合員の経済的地位の向上を目指している。そのため、野菜の共同仕入においては、組合員が生産したレタス等の葉菜類を協同組合で買い取り、有限会社葉っぱやに販売を委託する仕組みをとっている。

主力商品であるブーケレタスは、有限会社葉っぱやが商標登録を持つブランド品であるため、当組合では商品規格の統一に関する生産ノウハウなどを共有し、より良い商品を供給するよう組合員に働きかけている。共同購入においては、肥料ウレタン等を農業資材卸やメーカーから購入することで、安く安定した供給体制を確立している。

活動の成果

組合の指導による安全なブーケレタスづくりが市場価格に左右されないブランド商品として認知されるようになり、有限会社葉っぱやを通じて、大手デパートやスーパーの店頭で置かれ固定客の獲得に結びついた。この結果、ブーケレタス等の組合員からの仕入額は平成22年度には221,699千円と20年度対比91.1%の高い伸び率を示しており、これは商品規格統一のため組合員や協力農家に生産管理を徹底させたことに起因している。

組合員にもたらした成果としては、①相場の下落時にも安定的な収入を得ることが可能とな



低農薬で安全性の高い水耕栽培



▲野本代表理事とブーケレタス

った、②資材も組合ルートにより安く購入できるようになり生産コスト減に結びついた、等が挙げられる。

今後は、堅実なペースで組合員の増強を図り、「安定経営の農業体」として組合員や参画農家の事業拡大への貢献を期待したい。

葉っぱや協同組合

住所：〒029-0207
千葉県市原市海士有木455-3
設立：平成20年3月
出資金：1,400千円
電話：0436-36-8888
URL：—
業種：農業
会員：7人
組合専従者：1人